

	課題分析	授業改善策
国語	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 文章を読み取る力に個人差がある。</p> <p><話し合い活動の充実> 自分の考えを意欲的に表現できるように、内容のまとめ方や表現方法を身に付けさせる必要がある。</p>	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 文章の構成を捉えさせるなど、読解のパターンを身に付けさせる。また、それぞれの語句の文中での意味を捉えさせるなど、文脈の中での語彙を用いる力を育成させる。</p> <p><話し合い活動の充実> 表現の型に応じて、自分の考えを表現したり、仲間の意見を聞いたりする機会を増やす。</p>
社会	<p><思考力・判断力・表現力の育成> ・グループ活動で対話をしているが、その内容を言語化する能力が低い。文章を作成する課題でも、1行で終わってしまう。キーワードを使って、文章を作成することができない。</p> <p><話し合い活動の充実> ・全員が、内容を理解していなければ話し合いが進みにくい。 ・個人差、グループ間の差が大きくなりやすい。</p>	<p><思考力・判断力・表現力の育成> ・継続的に、課題を設定し積み重ねを継続する。 ・ループリックなどの基準を示し、生徒が活動しやすいように留意する。 ・文章作成だけでなく、表や図などで表現させる活動も取り入れる。</p> <p><話し合い活動の充実> ・能力の低い生徒も、他人の意見を取り入れる手段になっているため、活動を継続させる。その際、教員の声かけを大切にする。 ・1年次は調べたことを伝える活動から始め、3年次には、自己の意見を形成し、伝える活動に深化させられるように、教員が見通しをもって活動する。 ・話し合い基本ルールを徹底する。〈た・さ・ひ〉 「助けを求めて良い。最後まで聞く。否定しない。」</p>
数学	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 前提となる知識・技能が身につけていない生徒や、自身の理解度を把握できないため、思考力が必要となる問題に取り組むことが難しい生徒がいる。</p> <p><話し合い活動の充実> 個人で問題を解くための時間が多く、話し合い活動の時間を確保することが困難である。</p>	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 判断力を育成するために必要な知識・技能が定着するよう、繰り返し練習する時間を確保する。また、生徒が自身の理解度を把握することで、思考力が必要な問題のどの段階で躓いているのか把握することができるよう支援する。</p> <p><話し合い活動の充実> 基本的な問題を個人ではなく、グループで解くようにして話し合い活動の時間を確保する。</p>
理科	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 既習した知識を応用できない生徒がいる。</p> <p><話し合い活動の充実> 実施すべきことが多く、十分な時間を確保することが困難である。</p>	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 既習した知識を活用し表現するために、単元ごとに学習内容をまとめる機会をつくり、テーマを設定して課題に取り組ませる。</p> <p><話し合い活動の充実> 班ごとの実験・観察の機会を増やし、考察について班での意見をまとめさせる。</p>
音楽	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 生徒の振り返りを見ると、知識と技術的な面については身につけてきたものの、練習が表現力につながらなかった、と書いている生徒が多くみられた。</p> <p><話し合い活動の充実> 小集団の育成を目的にした活動を展開。パートリーダー等の主導で話し合いながら歌唱練習する方法を学んだ。自らの表現の課題を発見することができた。</p>	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 歌唱活動を通じて得た知識をもとに、より良い表現を考え、試行錯誤しながらクラス合唱の完成を目指す。課題に対し解決の方法が適切であるかを考えさせる。</p> <p><話し合い活動の充実> 指導者はアドバイザーの立ち位置を貫き、ファシリテーター役のリーダーを中心に話し合い活動を含めた主体的な音楽活動を展開する。</p>

美術	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 目に見えないものを想像し、描写する力がない。また、どの学年も授業への取組は良好であり落ち着いて集中できているが、アイデアが浮かばないまま放置してしまう生徒もいる。</p> <p><話し合い活動の充実> 個人で制作する場面が多く、話し合い活動をする場面が少ないため、生徒同士で鑑賞することで自己肯定感やアイデアの向上を図る必要がある。</p>	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 発想、構想する力を伸ばすために、様々な作品や写真をタブレットで調べて参考にしながら、活動させる。その上で、より良い作品にするために適切なアドバイスをを行う。</p> <p><話し合い活動の充実> 生徒同士の作品観賞時間を増やすとともに、お互いの作品の良いところを探せるような観点を提示する。タブレットを有効活用し、美術作品などの鑑賞を通してグループでの話し合い活動を活発化させる。</p>
保健体育	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 学習（振り返り）カードで「知識・技能」の記述が多く、「思考力・判断力・表現力」の記述が少なく、内容が薄かった。通知表分析より「思考力・判断力・表現力」の育成課題が顕著にあらわれている。指導が「知識・技能」に偏っていることを反省したい。</p> <p><話し合い活動の充実> ペアやグループ活動を積極的に行ってきたが話し合いをする時間が少なかった。また、話し合い内容が「知識・技能」の内容を伝えあう程度で終わっていた。</p>	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 学習（振り返り）カードで「思考力・判断力・表現力」の内容が多く記述されるよう、個人やチームの課題発見の場を設ける。また、互いに教え合う場面を増やし、互いに思考し、自分の考えを伝える活動を取り入れる。</p> <p><話し合い活動の充実> しっかり時間設定をする。また「思考力・判断力・表現力の育成」について課題設定を増やしたい。</p>
技術・家庭	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 調べ学習などの課題を実施した際に、学習した内容が社会でどのように活かされているのかをまとめることができている現状がある。そのため、学習している内容が、社会でどのように活かされているのかについて考える力を高める必要がある。</p> <p><話し合い活動の充実> 話し合い活動では積極的に発言する生徒と、他の生徒の意見を写すだけの生徒になってしまっていた。話し合い活動の前には、自分の意見を書く時間をとっていたが、書くことができない生徒が見受けられた。</p>	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 学習している内容が活かされているものを、生徒の身近にあるものから取り上げて説明することで、学習内容とのつながりを考えられるような指導を行う。</p> <p><話し合い活動の充実> 話し合い活動を行う際には、目的を明確にした話し合い活動を行い、話し合いが活発になるように、アドバイスをを行う。また、4人グループにすることで、生徒一人の発言する機会を増やす。</p>
外国語（英語）	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 思考力・判断力・表現力を身につけさせるための活動時間は確保できているが、生徒に目的・場面・状況を十分に意識させながら活動ができていない。そのため、まとめにおいて生徒が何を課題としているかの把握と振り返りが不十分である。</p> <p><話し合い活動の充実> 主体的に学習に取り組む態度が話し合い活動の充実の根底にあると考えているが、アンケートの結果、授業で発言する意欲が低い生徒は授業の理解度が低い傾向がある。</p>	<p><思考力・判断力・表現力の育成> 授業最初での目標の提示を行い、基礎的な知識の定着を文法指導と演習で確認する。そして確かな文法力を定着させる。それを前提とし、ペアやグループでコミュニケーションを行う活動において、目的・場面・状況を意識させながら多様な考え方を表現させる。その内容について、よりよい表現や多様な情報を活用することができたかまとめを行う。</p> <p><話し合い活動の充実> 自分のことを意欲的に表現できるようにするために、生徒が話しやすい課題の設定が重要である。登場人物の心情を考えさせたり、賛成か反対かを考えさせたりすることで簡単な英語でも意見を伝えやすくする。</p>